



△2種類の署名をしています。

◇ブログもあります

75歳の医療費窓口負担2割反対・核兵器禁止条約を政府も批准を！

笑顔でつながる みんなのたまり場

cosse亀田からの通信です

発行：郡山市亀田1-11-14

4月号 * NO57 2021・3・24

☎ * FAX : 024-953-6833

郡山医療生協桑野支部 石井うた

※2月の利用者は157名 朝どり野菜は3月は1回でした ▼「縁食」3~6人程度での昼食会5回

原発事故から10年・・・何を思いましたか？

◇2011年の原発事故から10年。農産物のセシウムは検出しなくなりましたが、山菜が美味しい季節になりましたが、きのこや山菜などは、まだまだ警戒のレベルにあると言われています。（こしあぶら・タラの芽・わらび・ゼンマイなどは測ってみましょう） ◇国と東電は放射性物質が残る汚染水を海洋放出する準備をしています。これに対してグリーンピースは2020年10月に原発周辺の汚染水にはALPS（多核種除去設備）では取り除けない危険なトリチウム、ストロンチウム90、炭素14（人間の細胞DNAを損傷する可能性がある）が含まれていることが東電も認めています。福島県内の市町村議会・漁業組合・市民は放出には強く反対しています。陸上保管と放射性物質除去技術の開発を国と東電は真剣に取り組んでほしいです。 ◇政府は年間被ばく線量20シーベルトを基準にして避難指示区域を設定しました。この基準は公衆の被ばく限度を1ミリシーベルトとした国際勧告の20倍、医療施設などの放射線管理区域年間5ミリシーベルトを大きく上回っています。住民の反対の声がある中どんどん避難指示解除が進められています。実際の帰還率はどんなものなのか？高齢者や作業員、東電の関連企業の関係者が暮らしているような状況ではないでしょうか。多くの課題が解決されていない現状があります。原発依存を反省し住民本位の復興と国が主導する「福島イノベーション・コースト構想」などの最先端産業の誘致で復興しようとするのではないような気がします。みなさんはどう考えますか？

憲法カフェ・・・ 憲法の前文には「・・・ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。国政は国民の厳粛な信託によるものでその権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者が行使し、その福利は国民が享受する。これは人類普遍の原理であり・・・全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有する」・・・実際に国民が政治を動かさなければ国民主権とは言えない。現在のコロナ禍のなか、菅政権の議会制民主主義が問われています。「国民の代表」としての能力が問われていると思いませんか？また、憲法は世界的な視野を持って、日本の柱をつくったという点が、素晴らしい。自分だけが良ければいいという考えではない。ということ。

インフォメーション



※だいぶ固い紙面になりました

○おりがみあそび*第4金曜日に変更

裏面に予定表がありますが変更することもあるので電話ください

○ほっこりつながり亭は21・22日予約